

カラムラサキツツジ

Rhododendron mucronulatum Turcz.

ツツジ科
Ericaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 II

選定理由 主として県の北部・西部地域の岩場に生えるが、分布はかなり広く、個体数も少なくない。河川ダム工事などで改変され、消失した生育地もあり、人による採取もあって、その減少が懸念される。

県内分布 耶馬溪・国東丘陵地、英彦山・犬ヶ岳山地、玖珠丘陵地・山地、別府湾沿岸域、大分川・大野川丘陵地

分布域 本州(中国地方)、九州(福岡・長崎・熊本・大分)
朝鮮半島、中国(北部・東北部)、ウスリー

生育環境 低地から山地の岩場。

現 状 河川工事などで改変され、消滅した生育地があり、人里近い所では人により採取されている。

備 考 ゲンカイツツジ(*f. ciliatum*)を含む。大陸系遺存植物。九州は分布の南限域にあたる。県指定天然記念物「ゲンカイツツジ」(耶馬溪町)。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう、瀬戸内海、耶馬日田英彦山]

ツクシアケボノツツジ

Rhododendron pentaphyllum Maxim.

ツツジ科
Ericaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 II

選定理由 本県は分布の北限域にあたる。生育地は狭いが、かなりの個体数が生育している。人による採取や踏みつけなどにより、その損傷や生育地の減少が懸念される。

県内分布 祖母・傾山地、北川上流域

分布域 九州(大分・宮崎)

生育環境 山地の尾根岩場や疎林内。

現 状 尾根筋にはかなりの個体が生育している。開花期(5月上・中旬)には登山者による損傷や採取がみられる。

備 考 九州の特産種。

キシツツジ

Rhododendron ripense Makino

ツツジ科
Ericaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 分布域は西南日本に限られている。本県では「耶馬溪地区」の河川流域の一部に生育しているだけで、個体数も極めて少ない。洪水による流失や河岸改修などに加え、人による採取で、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 耶馬溪地区

分布域 本州(中国地方)、四国、九州(大分)

生育環境 低地の河岸。

現 状 河川の洪水による流失や護岸工事、河岸の森林化による生育環境の悪化、人による採取などで生育状態が著しく衰退している。

備 考 県天然記念物「キシツツジ」(耶馬溪町)、国定公園指定植物[耶馬日田英彦山]